



岸本 信弘社長

日本版GPSの準天頂衛星「みちびき」を活用した高精度単独測位受信機を、世界で初めて開発、販売したマゼランシステムズジャパン(岸本信弘社長、兵庫県尼崎市)。

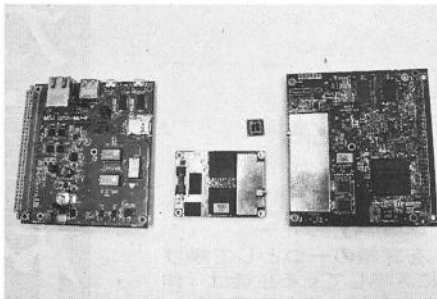
関西の底力 自動車関連 ものづくり企業巡り

経験だ。幼少期からヨットを操縦し、学生時代は外洋レースにも出場した。「外洋では1時間も陸から離れると、自分の位置が分からなくなる」(岸本社長)。ため、太陽や星の高さを測って自分の居場所を確認していた。当時から岸本社長は「自分の位置がすぐ分かるものがあれば」と考えていたという。

大学卒業後は半導体メーカー

安価で高精度の単独測位受信機

22 マゼランシステムズジャパン



独自構造で高い評価を得ている

上に就職し、技術職として働き、同社を立ち上げた。安価で高精度な受信機製作をきっかけに、「GPSを使っている位置情報を取得できるものは安かろう悪かろうで、良の作りた」との思いが強いものができるはずがない」と偏見を持たれたが、実際に使うと明確な位置情報を出して動作することが、次第に信頼と評価を得た。低コストを実現するポイント。2015年に開催された「シートックジャパン」では「低コストで実現された、自動車用高精度衛星測位モジュールと慣性演算装置(IMU)との高度カップリング

の腕で高性能なシステムを構築する。全地球衛星測位システム(GNSS)の信号は宇宙から電離層や対流層を通過し、地上に届く。正確に電波を届けるためには、電離層や対流層などの影響を補正する必要があり、温度変化への対応も欠かせない。これらの課題を解決する補正システムを搭載し、高精度な受信機を実現した。自然界の雑音の中に隠れる信号の検出も可能だ。

自動車業界で高まる存在感

注目ポイント

全情報を自動車とつなげる
V2V(車車間通信)では自動車向けの受信機を開発していたが、今後は「V2X」の開発を進める。V2Xはエブリシングのことで、「自動車と人や自転車など、交通上に関係するものすべて」を指す。交通上のすべての情報を自動車とつなげることで、交通環境の改善や事故の防止にも貢献する。
(藤原 稔里)

システム)がソーシャル・インの発展とともに、位置情報へバージョン部門クランプリの要求や活用度が高まっている。17年には「次世代準天頂衛星」(同)という。高精度な衛星対応多周波マルチGNSS 動運転の開発が進展するのにより、高精度受信機開発が総務 伴い、同社の自動車業界での大臣賞を受賞するなど、高い存在感も増している。
△所在地 兵庫県尼崎市道意町7-1-3
▽代表 岸本信弘社長
△創業 1987年
▽従業員 30人
△06-491-5520
△06-491-5520

近畿圏

kansai@njd.jp

関西支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル13F TEL.06-6233-2900
兵庫支局 TEL.06-6233-2900 京都支局 TEL.06-6233-2900

ご購入のお申し込みはお近くの朝日新聞販売店または上記支社・支局へ